和歌山信愛大学
教育学部 子ども教育学科

男女共学

WAKAYAMA
SHIN-AI UNIVERSITY

和歌山信愛大学で
一緒に学ぼう

私たちは、一人ひとりの子どもの思いに寄り添い、そして宝物のように愛する心をもった先生を目指しています。

私たちは、一人ひとりの子どもを信じ、子どものもつ可能性をしっかりと伸ばしていける力をもった先生を目指しています。

私たちは、私たちを包み育ててくれたかけがえのない郷土を大切にし、地域と共に歩み、地域の未来を拓く先生を目指しています。

そんな心豊かでたくましい先生になるために、私たちは、キャンパスや地域で、友と共に深く学び合い、熱く語り合い、互いを磨き合っています。

将来教育職や保育職に就き、一人ひとりの子を愛し、地域を引っ張っていく、そんな輝ける先生を夢見るあなたを私たちは待っています。

CONTENTS

01 目次
03 学部・学科概要
05 ４年間の学びの流れ
07 幼保コース・小幼コース
09 カリキュラム
11 スタディーレポート
13 地域連携の取り組み
15 地域連携体験レポート
17 学生の取り組み
19 教員サポート
21 キャリア教育・サポート体制
23 キャリア
25 学生ライフスタイル
27 キャンパスマップ
29 キャンパススケジュール
30 オープンキャンパス

地域から信頼され
地域から愛される先生に

和歌山県で小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の免許・資格が取得できる

子ども教育学科

子どもたちの成長を支えるために必要なのは広い視野を持つと同時に個々を大切にする深い人間愛。
本学では強さと優しさを兼ね備えた教育者を養成。
そこには和歌山の地で「心」を大切にしてきた信愛ならではの“人間を育むチカラ”があります。

4つのこだわりをもって地域から必要とされる
人間性の高い先生を育てます。

質の高い **学び** × **地域** との関わり × **人** との繋がり × 未来を築く **キャリア**

1 質の高い学び

◉基礎を重視

目指す将来に関わらず、2年次までは全員が乳幼児期から学童期に関する基礎科目を履修。それぞれの連続性を理解し、一人ひとりに寄り添った深い学びが得られます。

◉実習サポート

一般的に3年次から始まる教育実習ですが、和歌山信愛大学では1年次から毎年実施。4年間の学習と実習を繰り返すことで教育現場に即した実践力を身につけます。

◉教師塾

和歌山県や和歌山市の教育委員会、現職の教員と連携し、学生の教員免許取得を強力バックアップ。現場の経験を基にした指導でキャリア形成をサポートします。

2 地域との関わり

◉フィールド学習

日高川町や湯浅町を訪れ、農作業や醤油醸造などを手伝いながらその町の暮らしを体験。また地域の人たちとの交流を通じて地域の課題や魅力を探ります。

◉地域活性化プロジェクト

大学からほど近い「ぶらくり丁商店街」の賑わいを取り戻すため、組合や行政団体の取り組みに大学として参加。立場や世代を超えた人たちと協力し、町おこしに挑みます。

◉地域ボランティア

子ども食堂や障がい者スポーツ大会等、地域のイベントにボランティアスタッフとして参加。積極的に取り組むことにより地域社会で信頼され、必要とされる人材を目指します。

3 人との繋がり

◉学友とともに

開学間もない大学だからこそ、学生も少なくイベントやサークルの発案、企画運営などもまっさらな状態からできるのが魅力。主体的な取り組みを重ね、責任感や自主性を育みます。

◉教員とともに

一人の学生に対し教員の数が多く、手厚いサポートを受けられるのが特徴のひとつ。担当教員制、オフィスアワーなどもあり、学生と教員との距離が近いことも大きな魅力です。

◉地域の人との繋がり

4年間の学びの中には地域連携フィールド学習などを通じて地域の人々と交流する機会もたくさん。人の温かさや地域の恵みに触れ、豊かな人間性を養います。

◉サポート体制

教員とキャリセンターが連携しながら学生一人ひとりの希望に沿った進路・就職を支援しています。学生の主体性を大切に自身が納得のいく就職活動ができるよう全力でサポートします。

4 未来を築くキャリア

◉各種特別講座

さまざまな進路・就職に対応した対策講座やセミナーを実施。

◉キャリアセンター

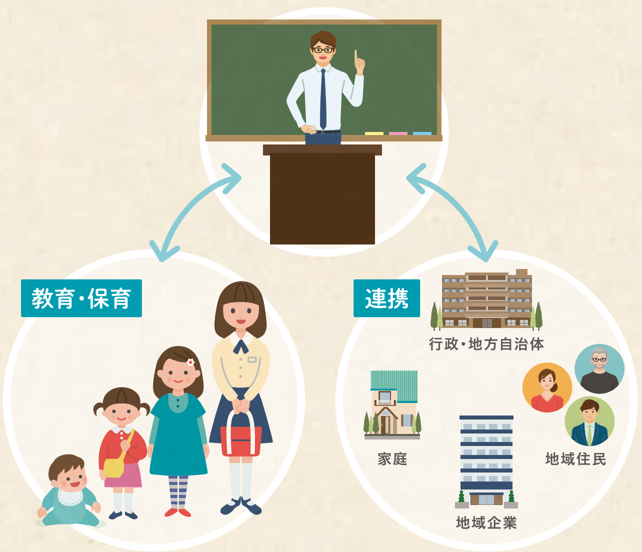
キャリアセンターは進路・就職に関する様々な情報をみなさんに提供しています。就職活動で困ったことがあればいつでもご相談ください。

1 質の高い学び

子どもの重要な成長の過程を担う乳幼児期から学童期。
和歌山信愛大学はこの時期の子どもを導く保育と
幼児・児童教育に特化した単科大学です。
その特徴は免許・資格取得に必要な知識に加え、現代の子どもを
取り巻く様々な問題や地域特性を踏まえた、より専門に富んだ学び。
家庭や地域との連携で、学びのスケールを広げます。

子ども教育学科

過疎化や少子高齢化などの問題を抱える中、子どもを支える先生には2つの力が求められます。1つは乳幼児期から学童期まで連続した子どもの発達や学びを理解し寄り添う力。もう1つは地域や家庭と協力し子どもたちが健やかに成長できる環境を作る力。子ども教育学科では、子どもと地域の豊かな未来を築く教育者・保育者を育てます。



乳幼児期から学童期までの子どもの発達と教育を深く理解し、一人ひとりの人生に寄り添う

家庭や地域と連携し、子どもが健やかに成長できる環境を作りながら地域の課題解決に貢献

子どもの成長を連続的に理解するために まずは全員で基礎を学習

目指す将来にかかわらず、2年次までは全員が小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格に関連する基礎科目を学習。中でも1年次は教育者・保育者としての使命感を養う基盤形成を、2年次は子どもの発達や教科・保育内容への理解を深める専門領域の基礎固めを重視。基礎をしっかりと固めることで保・幼・小の連続性をより深く理解し、一人ひとりに寄り添った支援のできる先生を育てます。

1年次 基盤形成	学科共通	
2年次 専門基礎	学科共通	
3年次 専門展開	小幼コース	幼保コース
4年次 統合と探求	小幼コース	幼保コース

さまざまな自治体との連携科目で 地域課題に関する幅広い学習が実現

地域の抱える課題に対してもリーダーシップを持って取り組む力を養うために、多数の地域連携科目を用意。和歌山県や和歌山市をはじめ、多くの自治体のサポートをいただき、活動の場は和歌山全域に広がっています。

アクティブラーニングの積極的な導入で 一人ひとりの主体性を養う

良質な教育・保育には、知識や技能に加え主体性や思考力、判断力など多様な要素が必要。そのため多彩な演習授業と実践研究科目を用意。ゼミ形式の授業では5〜15人の少人数制で時に熱く議論し、実践力を磨きます。

取得できる資格

小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の免許・資格が取得可能

※コースは、本人の希望と履修状況を加味し、小幼コースと幼保コースに分かれます。
※本人の履修状況と成績により、異なるコースの科目も4年次に履修することが可能となり、3つの免許・資格取得を目指すことができます。

コース	免許・資格
小幼コース(35名)	・小学校教諭一種免許状 ・幼稚園教諭一種免許状
幼保コース(45名)	・幼稚園教諭一種免許状 ・保育士資格

＋
・社会福祉主事任用資格
・児童指導員任用資格

4年間の学びの流れ

入学前

進路希望に合った細やかなサポートを受けられます。

入学前を含む早期からガイダンスを行い、教学センターや担当教員が、学生の進路希望や適性を把握。入学後のスムーズな就学態勢が整うよう、一人ひとりに合わせたきめ細やかなサポートが受けられます。

1・2年次

2年次までは、全学年が同じ基礎科目を学びます。

乳幼児期から学童期までの子どもを深く理解し、継続した教育を担うため、2年次までは全員が小学校教諭・幼稚園教諭の一種免許状、保育士資格に関連する基礎科目を履修。それぞれの基礎を踏まえ、希望のコースへと進みます。

音楽では、小学校時代の懐かしい曲を合唱したり、リコーダーやピアニカなどを使って演奏します。

和歌山県立 箕島高等学校出身 1年 豆塚 空さん

豆塚さんの時間割

	月	火	水	木	金
1	教職基礎ゼミナール	音楽	スポーツと健康	情報処理論	教育課程総論
2	信愛教育	発達心理学	保育原理	日本語表現	生活
	お昼休憩				
3	教育原理	教職論	保育内容総論	図画工作	英語コミュニケーション
4		世界の中の和歌山	日本国憲法		

3・4年次

小幼 幼保 2つのコースから選択 将来を見据えて、専門性を高めます。

3年次からはコース別に専門性を深めると共に初等教育、幼児教育の各教育現場に即した実践力を身につけます。異なるコース科目を4年次に履修すれば、3つの免許・資格を取得することも可能です。

小幼コース 35名 教科理解と指導力、学級経営力などを身につけます。

太田さんの時間割

	月	火	水	木	金
1	教師への道	保育内容の指導法	初等教科教育法(算数)		
2		（1・2限）	特別支援教育・保育	小学校実習指導	初等教科教育法(英語)
	お昼休憩				
3	教科実践研究	初等教科教育法(理科)	鍵盤楽器の表現技法	総合的な学習の時間指導論	初等教科教育法(社会)
4	道徳教育指導法		専門ゼミナール	教育相談支援	キャリアガイダンス
5		保育実習指導			

専門ゼミナールでは、辻ゼミを選び、国際交流として中国の学校とオンライン交流をしました。

岸和田市立 岸和田産業高等学校出身 3年 太田真生さん

幼保コース 45名 保育の表現力と環境構成力、子育て支援力などを身につけます。

中山さんの時間割

	月	火	水	木	金
1				子どもの保健	音楽表現研究
2	造形表現研究	乳児保育	鍵盤楽器の表現技法	教育相談支援	保育内容実践研究
	お昼休憩				
3	相談援助	保育内容の指導法	特別支援教育・保育	子どもの食と栄養	幼児体育
4		（3・4限）	専門ゼミナール	保育実習指導	幼稚園実習指導
5		保育実習指導			

幼児体育は、子どもの身体活動と運動遊びについての指導法を実践しながら学べるところがオススメ。

和歌山県立 海南高等学校出身 3年 中山未夢さん

卒業後

一人ひとりに合ったキャリア支援を受け、明るい未来に向かって歩んでいきます。

進路	内容
小学校教諭	保・幼・小の連続性を理解した小学校教諭を目指します。
保育士 幼稚園教諭	幼稚園、保育所、児童福祉施設などで活躍する保育者を目指します。
公務員 一般企業	地域に貢献できる「教育マインド」を持った社会人を目指します。

選べる2つのコース

**子ども一人ひとりに寄り添う支援力とコミュニケーション力、
高い専門的知識・技能に裏付けられた創造的思考力とリーダーシップで、
子どもと地域社会の未来を築く、教育者・保育者を育てます。**

Course 01 小幼コース

2年次までに修得した、乳幼児期から学童期までの子どもの発達への理解を基盤に、深い学びを実現する力や教科指導力を身につけつつ、子どもたちの多様な人生をチームで支える教育者を目指します。

コミュニケーション上手な熱血先生を目指して

小学校の先生を志望しているので、小幼コースを選びました。きっかけは、小学生のときにお世話になった熱血先生がいて、その先生に憧れたからです。

20日間の小学校実習では、実際のクラス運営に携わりました。現場の先生が、子どもたちが飽きずにうまくついてこられるよう、細かな動きやコミュニケーションを計算し、メリハリをもったクラス運営をしているのを見て、やっぱりすごいと感動しました。先生になりたい気持ちはより強くなりましたね。実習後は、目線の動きやうなずきなどから子どもたちの気持ちを汲み取るといったような、コミュニケーションや対話を中心に勉強しています。

一人ひとりにきちんと向き合い、普段は面白くてもダメなところはビシッと注意できるようなかっこいい先生になりたいです。

和歌山県立那賀高等学校 出身
西村 優志さん

大学教員とのコミュニケーションも大切に!!

夢の実現のために実践的な体験を

自習室で勉強中!

和歌山県立和歌山商業高等学校 出身
岩田 莉紗さん

私には大学生の今でも気にかけて関わってくれる小学校時代の恩師がいて、その先生の影響を受け小学校の先生を志望しています。

小幼コースの志望は入学前から決めていたので、1、2年生のときはオープンキャンパスサークルのリーダーを務めたり、児童館での教育ボランティアをしたりと、様々な実践的な経験を積むことを心掛けてきました。ボランティアや実習で「先生、先生」と慕ってくれる子どもたちと向き合うと、求められていることを実感できて嬉しいです。「この子たちのために何ができるだろう、もっと頑張ろう」と身が引き締まる思いです。

子どもや保護者とも緊密に連携をとり、子どもと地域とのつながりを大切に考えられる先生像を理想に描いて、これからも授業にサークルにと精一杯やりきりたいと思っています。

とある1日の授業内容

08:50　登校

09:00　1限「教師への道」
教員採用試験・公務員試験対策の専門教養について学びます。

10:50　2限「自習」
自習室を使って、課題や採用試験の勉強。

12:30　昼食

13:30　3限「教科実践研究」
視聴覚教材による学習、教材研究、指導計画案の作成。

15:20　4限「地域防災教育論」
来るべき災害に備え、子どもたちが主体的に動こうとする知識・判断力・行動力を身につけるための学習・訓練を行う防災教育の理論と実際について学びます。

17:30「OCPTサークル活動」
学年を超えての活動が楽しい!

19:00　下校

Course 02 幼保コース

子どもの生活を豊かにする質の高い保育の表現力や環境づくりができ、保護者の気持ちに寄り添い必要な援助ができる、幼稚園教諭、保育士になれるよう、実践的に学び、専門的知識と技術を身につけます。

男性指導者ならではの関わり方を模索中

理論と実践を結ぶ

和歌山県立和歌山北高等学校 出身
常田 峻矢さん

私は4人兄弟の長男で、弟が3人います。一緒に遊んだり世話をしたりしているうちに、自然と幼児の教育に関わる仕事を志すようになっていました。

授業では幼稚園実習や保育実習に行く前の「実習指導」の授業が印象に残っています。現場に行ってウロウロしているだけにならないよう、日誌の書き方に始まり、手あそびや環境構成まで細やかに教えてもらえたので、実習に対しての不安が和らぎました。

また男性の幼稚園教諭や保育士は珍しく、今在籍している幼保コースでも、男子学生は2人。でも和気あいあいと男女関係なく話し、お互いを高め合っています。指導者になってからも、女性とはまた違った子どもたちへの関わり方ができるのではと思っています。全力で子どもたちと遊び、近づきやすく、保護者からも同僚からも頼りにしてもらえる存在になりたいですね。

目指すは「3免」! 真似してもらえる先生に

幼な心に保育所がとても楽しかった記憶があり、小学生の頃から保育士になりたいという夢をもっていました。

ただ、信愛大学では「3免」といって、一定ラインの成績を超えれば、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の3つの資格・免許の取得が可能になります。私は保育士と幼稚園教諭の資格・免許取得を目指していますが、小学校教諭免許にもチャレンジしようと思っています。

実習に行って、子どもたちが身振りや口振りをすぐ真似するなど、保育士をよく見ていることに驚きました。言葉や立ち居振る舞いに気を付けて、いい意味で真似してもらえる保育士にならなくては、と気持ちを引き締める機会となりました。

信愛大学は1つの学科だけなので、皆同じ方向の目標をもっています。先生だけでなく子育て支援など様々な将来の方向性があるので、子ども好きな方にはぜひ来てほしいですね。

和歌山県立耐久高等学校 出身
栗山 すみれさん

子どもたちに絵本の読み聞かせ

とある1日の授業内容

08:50　登校

09:00　1限「子どもの保健」
子どもの心身の健康と安全に関する基本的知識をつけます。

10:50　2限「子どもの食と栄養」
特別な配慮を要する子どもの食と栄養についての理解を目指します。離乳食も実際に食べました。

12:30　昼食

13:30　3限「保育実習指導」
保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学びます。

15:20　4限「幼児体育」
運動遊びにおける設備・遊具などの安全管理も学びます。

17:30　下校

4年間のカリキュラム

		1年次 基盤形成	2年次 専門基礎	3年次 専門展開			4年次 統合と探求
共通基礎科目	教養科目	• スポーツと健康 Ⅰ(講義) • スポーツと健康 Ⅱ(実技) • 日本国憲法 • 国際教育論 • ヘルスプロモーション科学 • 子どもと遊び • 情報処理論 • 信愛教育 Ⅰ • ボランティア実習 • いのちと倫理 • 日本語表現 • 情報処理演習 Ⅰ • 英語コミュニケーション Ⅰ • 英語コミュニケーション Ⅱ • 教職キャリアデザイン • 教職基礎ゼミナール • 教職基礎実習	• 人類生態学概論 • こころの科学 • 子どもと文学 • 生命と進化 • 現代メディア論 • 信愛教育 Ⅱ • 情報処理演習 Ⅱ • フランス語コミュニケーション • 中国語コミュニケーション • インターンシップ	• キャリアガイダンス Ⅰ • 教師への道 Ⅰ • 教師への道 Ⅱ			• キャリアガイダンス Ⅱ • 実践キャリア教育 • 教師への道 Ⅲ
	地域連携科目	• 世界の中の和歌山 • 歴史・文化と風土 • 郷土の自然 • 地域連携フィールド学習	• まちづくりの経済学 • 文学と郷土 • 地域の生活文化 • 地域力再生論 • 地域連携フィールドゼミナール	• 地域防災教育論			
専門教育科目	理念・理論	• 教職論 • 教育制度論 • 教育原理 • 保育原理 • 子ども家庭福祉 • 教育課程総論 • 保育の計画と評価 • 保育内容総論 • 教育方法論	• 社会福祉 • 社会的養護	小幼コース	教科・保育内容の専門領域	• 鍵盤楽器の表現技法 • 幼児体育 Ⅰ • 保育内容の指導法 Ⅱ • 初等教科教育法(算数) • 初等教科教育法(理科) • 初等教科教育法(社会) • 初等教科教育法(家庭) • 初等教科教育法(英語) • 総合的な学習の時間指導論 • 道徳教育指導論	【課題探求科目】 • 教職実践演習(幼・小) • 専門ゼミナール Ⅱ • 卒業研究
	教科・保育内容の専門領域	• 図画工作 Ⅰ • 図画工作 Ⅱ • 音楽 Ⅰ • 音楽 Ⅱ • 鍵盤演奏入門 • 子どもの表現 Ⅰ • 生活 Ⅰ • 生活 Ⅱ • 子どもと環境	• 初等教科教育法(図画工作) • 初等教科教育法(音楽) • 器楽 • 体育 • 初等教科教育法(体育) • 子どもの表現 Ⅱ • 子どもの言葉 • 国語(書写を含む) • 初等教科教育法(国語) • 初等教科教育法(生活) • 保育内容の指導法 Ⅰ • 算数 • 理科 • 社会 • 家庭 • 初等英語 • 特別活動指導論		子どものニーズ支援	• 特別支援教育・保育 • 特別支援教育・保育 Ⅱ • 教育相談支援 • 生徒指導・進路指導の理論と方法	
					実習	• 小学校実習指導 • 小学校実習 • 幼稚園実習指導 Ⅱ • 幼稚園実習 Ⅱ • 保育実習指導 Ⅰ(施設) • 保育実習 Ⅰ(施設)	
					課題探求科目	• 教科実践研究 • 保育内容実践研究 • 専門ゼミナール Ⅰ	
	子ども理解	• 発達心理学 • 教育心理学	• 幼児理解の理論と方法 • 子どもの保健	幼保コース	教科・保育内容の専門領域	• 造形表現研究 • 音楽表現研究 • 鍵盤楽器の表現技法 • 幼児体育 Ⅰ　• 幼児体育 Ⅱ • 保育内容の指導法 Ⅱ • 乳児保育 Ⅰ　• 乳児保育 Ⅱ	【実習】 • 保育実習指導 Ⅲ • 保育実習 Ⅲ 【課題探求科目】 • 保育・教職実践演習(幼) • 専門ゼミナール Ⅱ • 卒業研究
					子ども理解	• 子ども家庭支援の心理学 • 子どもの健康と安全 • 子どもの食と栄養 Ⅰ • 子どもの食と栄養 Ⅱ	
					子どものニーズ支援	• 特別支援教育・保育 Ⅰ • 特別支援教育・保育 Ⅱ • 教育相談支援 • 子育て支援演習 • 社会的養護演習 • 地域と子育て支援	
	実 習		• 幼稚園実習指導 Ⅰ • 幼稚園実習 Ⅰ • 保育実習指導 Ⅰ(施設) • 保育実習 Ⅰ(施設)		実習	• 幼稚園実習指導 Ⅱ • 幼稚園実習 Ⅱ • 保育実習指導 Ⅰ(施設) • 保育実習 Ⅰ(施設) • 保育実習指導 Ⅰ(保育所) • 保育実習 Ⅰ(保育所) • 保育実習指導 Ⅱ • 保育実習 Ⅱ	
					課題探求科目	• 保育内容実践研究 • 専門ゼミナール Ⅰ	

授業ピックアップ

英語コミュニケーション

高校までに修得した英語力を根底に英文法の概念を学び直し、日常的な語彙や表現を理解し自分の意見を発信できる英語運用力の習得、また小学校教育・幼児教育の現場におけるコミュニケーション力の向上を目指します。

スポーツと健康

保健体育の理論や実技を通し、スポーツの意義を学ぶ科目。講義では人間の体の仕組みと健康の関連、レクリエーション運動の価値やスポーツの歴史を学び、実技では実践し体を動かす楽しさを体感できます。

音楽

小学校音楽科の学習指導に必要な「表現」(歌唱・器楽・音楽づくり)と「鑑賞」のそれぞれの演習を通して基礎的な知識・技能を磨きます。またそれを基盤に多様な教材を活用した豊かな指導のあり方を学びます。

初等国語

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」などの指導領域ごとに演習や模擬授業を通して、小学校国語を担当できる力を身につけます。黒板の使い方や書道の指導法も基本から学びます。

教育心理学

幼児・児童および生徒といった学習者の発達的特性を踏まえた学習支援について心理学が過去から蓄積してきた基礎的な知識や理論を理解するための科目。各段階の発達的特性に応じた保育や教育のあり方を学びます。

図画工作

造形遊びの活動や絵画・立体表現、工作などの制作活動や鑑賞活動を通して材料・用具の扱い方などを学ぶ基礎から、児童の豊かな感性を育む図工科教育の応用まで、指導者としての美術や図画工作を実践的に学びます。

初等算数

小学生がつまづくポイントを押さえ、具体的な授業場面を想定し、「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」などの指導領域ごとに授業設計を行えるよう、さまざまな教具を使って学びます。

乳児保育

乳児についての理解を深めるとともに、乳児を取り巻く状況について理解し、乳児保育に必要な知識や技術を修得します。いのちと未来を守る保育者としての役割と責務についての自覚を促します。

スタディーレポート

先輩たちは何を考え受験し、入学後はどう過ごしているのか?
そんな疑問に応え、気になる和歌山信愛大学での学びについて先輩たちが一問一答。
好きな授業から将来の目標まで、リアルな学生の声を聞かせてもらいました。

QUESTION

- **Q1.** 和歌山信愛大学の志望動機を教えてください
- **Q2.** 和歌山信愛大学に入学してみて感じたことを教えてください
- **Q3.** 授業で好きな科目と好きなところを教えてください
- **Q4.** 取得したい免許・資格を教えてください
- **Q5.** 授業以外で取り組んでいることがあれば教えてください
- **Q6.** 将来の夢を教えてください
- **Q7.** 受験生へのメッセージをください

Report 01 生まれ育った和歌山で先生を目指して信愛は学びの幅が広げられる大学

和歌山県立 那賀高等学校 出身　山野 莉奈さん

A1 生まれ育った和歌山で先生になりたくて、資格・免許取得を目指してしっかりと学べる4年制大学を希望していました。信愛大学が新設されたとき、まだ高校1年生でしたが「ここにしよう!」と即決しました。

A2 思っていた以上に大学生活が楽しいです。教育者を目指している同級生が多く、思いやりのある子ばかり。入学してすぐにみんなと仲良くなれました。

A3 「図画工作」。この授業を受けるまでは、美術に苦手意識がありました。でも、制作物を先生や友人が「それいいやん!」と褒めてくれるので自信がつきました。自由に楽しみながらできるので、好きな科目です。

A4 保育士・幼稚園・小学校教諭。学びの幅を広げ、将来の選択肢を増やしたくて、3つの資格・免許取得を目指しています。

A5 習字を15年くらい続け、今の段位は7段です。週に一回教室に通い、8段を目指しています。ゆくゆくは10段を取りたいです。

A6 保育士か幼稚園教諭。実はもともとピアニストを目指していたんですが、音楽の世界の厳しさを知って断念。「何かピアノを使った仕事がしたい」と思ったのがきっかけで、先生を目指すようになりました。

A7 信愛大学は、1学年の人数が少ないので、学生同士や先生との距離が近く、気軽に話や相談ができるのが魅力。男女共学で、性別関係なくみんな仲良く充実した大学生活を送ることができます。

Report 02 将来の夢は、小学校の先生のびのびとした大学生活を送っています

和歌山県立 神島高等学校 出身　瀬田 遼さん

A1 和歌山県内で小学校の先生になるには、どの大学を選んだらいいだろうと考え、信愛大学の就職サポートを見て選びました。

A2 大学入学を機に一人暮らしを始めたこともあって、最初の頃はホームシックになりました。でも授業が始まればすぐに友達もでき、今は楽しく過ごしています。先輩も先生もとてもフレンドリーで居心地の良い環境です。

A3 「スポーツと健康」と「図画工作」。運動が得意なので、「スポーツと健康」の実技で体を動かすのが楽しいです。
「図画工作」は新しい技術や表現の仕方を学べるので楽しいです。

A4 小学校・幼稚園教諭です。

A5 社会人のサッカーチームに所属しています。週一回のサッカーの練習に参加しています。年代が幅広くて楽しいです。また、一人暮らしなので、できる家事が増えました。料理には特にこだわっていて、中華料理を作ったりもします。

A6 小学校の先生です。自分自身が小学6年生のときに、担任していただいた先生がとても熱心で。真摯に向き合ってくれて、背中を押してもらった経験があるので、自分もそんな頼れる存在でありたいと思ったのがきっかけです。

A7 何か不安なことや分からないことがあっても、先輩や先生方が積極的に助けてくれるアットホームな環境です。のびのびとした大学生活が送れるので、安心して入学してください!

Report 03 コミュニケーションが取りやすく積極的に学べる環境があります

和歌山県立 粉河高等学校 出身　山岸 進汰郎さん

A1 教育学部で小学校教諭の免許をとりたくて。信愛大学は、実家から原付バイクで40分。通いやすい距離だったことが決め手になりました。

A2 男子学生は少ないんですが、性別関係なくみんなが仲良くできる環境だなと感じています。後は、やはり通学に時間がとられないので、自分の時間が確保できることも大きいです。

A3 「保育内容の指導法」。200分を使って、グループで造形遊びなどの作品を作ったりする、友人と一緒に取り組める授業が好きです。

A4 小学校・幼稚園教諭です。

A5 アルバイトかな。福祉用具の運搬・設備の仕事をしています。介護施設のスタッフさんや高齢者の方とコミュニケーションをとることが多く、将来の教育の仕事に役立つ学びがあります。2年生になり、課題が増えてきたのもあり、忙しいですが、メリハリをつけて時間管理をしています。

A6 小学校の先生を目指していますが、いろいろなことを学んでいくうちに選択肢も増えてきたので、柔軟に考えていきたいです。

A7 同級生や先輩、先生とコミュニケーションを取りやすいのがこの大学の魅力。教育の現場に限らず、将来、人と関わる仕事に就きたい人には、おすすめ。学べることがたくさんある大学です。いろいろなことにチャレンジしたい人はぜひ!

Report 04 信愛は、やりたいことができる大学学ぶうちに将来が見えてきます

大阪府立 日根野高等学校 出身　山原 叶夢さん

A1 小学校の先生になりたくて教育学部を探していたところ、同じ高校の先輩が信愛大学の一期生として通っていることを知ったことがきっかけです。

A2 まず先生との距離が近く、驚きました。質問や進路の相談、完成した作品を見せにいくなど、こんなに気軽に研究室に出入りできる大学は無いと思います!
私は大阪から電車通学ですが、駅から近く通学しやすいのも魅力です。

A3 「図画工作」。実践から学べるところに魅力を感じています。一度、子どもの目線に立って考えるので支援について理解もしやすくなります。

A4 保育士・幼稚園・小学校教諭の3つの資格・免許取得を目指しています。頑張れば頑張るだけ結果が出る分野なので、挑戦のしがいがあります。

A5 ボランティア活動。昼休みの後、大学の隣にあるふれあいセンターで学校に行きづらい子どもたちと遊んだり、一緒に勉強したりするサポートを行っています。

A6 小学校の先生。元々は警察官を目指していたんですが、高校3年生の進路決定の際に、違和感を持ち、悩みました。そんな時、小学校の頃大好きだった先生から「あなたは教師に向いている」と言われたことを思い出して、思い切って進路を変更しました。

A7 信愛大学はやりたいことができる大学。この大学で学ぶなかで将来が見えてくるはずです。夢がある人は、ぜひ一緒にがんばりましょう!

2 地域との関わり

子どもたちを取り巻く環境の変化や
地域社会に起こっていること、街が持つ魅力、
そんな「地域のいま」を正しく捉え、
対応していく力を身につけるため、
本学は和歌山県内の自治体や地域団体と連携。
さまざまなプロジェクトを進める中で実感できる、
時代に即したかけがえのない体験をバックアップします。

地域連携で交流し、学びを実践

01 地域連携フィールド学習で、日高川町と湯浅町と連携し学びを深める

和歌山県中南部に位置し、みかんなどの柑橘類の栽培がさかんな日高川町。また古くは熊野古道の宿場町として栄え、醤油発祥の地としても知られる湯浅町。和歌山県にはこうした歴史と自然に包まれた町がたくさんあります。学生たちはこれらの地域を実際に訪問し、地域住民の家に宿泊しながら農作業や醤油醸造を手伝うなど、その町での暮らしを体験。さまざまな世代の人たちとの交流を通じて地域の課題や魅力を見つけ、視野を広げます。

左／日高川町の保育所にて運動会の練習中！　中央／植物の繊維をとって紐作り　右／畑に使う土づくりをお手伝い

Topics 01 地域との連携は広がる

令和3年に新たに有田市と学校法人和歌山信愛女学院は、有田市における幼児教育の充実を図るとともに、大学等における教育・研究の充実に寄与することを目的とし連携協定を締結しました。(1)幼児教育に関すること（2)人材育成に関すること（3)保育環境に関すること（4)子育て支援に関すること（5)その他目的を達成するために必要と認める事項
以上の5つの事項について連携・協力を行い、今後、人材、知財を相互に活用することで幼児教育・保育の質の向上を図り、地域の発展に繋げていきます。

令和3年11月に連携協定締結記念として「和歌山信愛大学子どもフェスタ In 有田2021」を開催しました。

子どもたちと一緒に工作体験

02 ぶらくり丁商店街を元気に！活性化プロジェクト

和歌山信愛大学のすぐ近くにある「ぶらくり丁商店街」。中心市街地で170年以上愛されてきた歴史を持ちながら空洞化の悩みを抱えるこの商店街に、かつての賑わいを取り戻そうと組合や行政など多くの団体が取り組んでいます。和歌山信愛大学もこの取り組みに参加し、ゼミ形式で課題解決の手段を模索。立場や世代を超えた人たちと協力し合い、地方創生の動向や経済・産業構造を踏まえたこれからのまちづくりのあり方を探ります。

ぶらくりバイキングにて受付や抽選係をお手伝い

03 和歌山全域をキャンパスに！地域ボランティアに積極的に参加

和歌山信愛大学では地域社会に触れ、社会貢献の知見を広げる学外でのボランティア活動の取り組みも推奨。多くの学生が授業の内外でボランティアに積極的に取り組んでいます。教育、保育、福祉の現場だけでなく、和歌山県が主催する障がい者スポーツ大会や子ども食堂など多様な地域活動にもボランティアスタッフとして参加。これらの活動に積極的に取り組むことで、一人ひとりが周囲との信頼関係を築き、地域社会で必要とされる力に。

上／和歌山サンタランにも運営ボランティアとして参加
下／子ども食堂の様子

和歌山県が主催する障がい者スポーツ大会では、参加者の介助や場内整理などをサポート

Topics 02 子育て支援拠点における活動

和歌山信愛大学の隣には和歌山市の子育て支援拠点の「和歌山市こども総合支援センター」があります。ここでは、家庭や子育てに関する悩み相談や支援を必要とする子ども・保護者に対応しています。2020年4月、その階下に、幼・保の特性を生かした初の市立認定こども園「本町こども園」が誕生しました。幼保一元化のみならず、障がい児への特別支援教育にも力が注がれ、発達に不安のある子どもが安心して過ごせる環境が整備されています。
和歌山信愛大学のキャンパス周辺が和歌山市の子育て支援拠点となっており、学生が子どもたちの成長を支援する複合的な交流も予定しています。保育、教育、福祉の現場が身近になり、肌で感じる機会が増えます。地域の子育てに貢献することで、おのずと現場での対応力もしっかりと身についていくことでしょう。

地域連携体験レポート

大学から一歩出れば見えてくる世界が変わるもの。地域と関わりながらのさまざまな取り組みを先輩たちが紹介。
実際に体験したさまざまな地域連携の現場やリアルな声をお届けします！

地域の取り組みを学びながら、さまざまなことに挑戦 普段はできない体験の中で個性が見える

日高川町と御坊市で行われた地域連携フィールド学習に参加しました。私自身は和歌山市で生まれ育ちましたが、御坊市出身の友人と環境の違いについて話しているうちに興味がわいて、実際に行っていろいろと体験してみたいと思ったのが、参加のきっかけです。

日高川町では、紀州体験交流ゆめ倶楽部の事務局長から講義を受け、「教育旅行」という体験型の観光事業の取り組みについて学ぶとともに、「押し花マグネット作り」や「焼き杉鉢の寄せ植え」など、地域の特産を使ったものづくりに挑戦。地元の方とふれあいながら、その地域でしかできないことが体験できました。

また、日高川町防災センターでの消火体験もとても印象に残っています。水害が起きたときの対処法など、やはり実際に体験してみないと分からないことが多くあると実感しました。

これらのフィールド学習で得た大きな学びは、普段の大学生活とは異なる特殊な体験をすることで、それまでは発揮されなかったその人の個性や良さが出るということ。自然に触れる経験はもちろん、新たなことにチャレンジすることの大切さを改めて学びました。今後教育者という立場になった際は、このような経験を活かした指導ができたらと思います。

作品はそれぞれ異なる出来上がりになりました

新たなことに挑戦する大切さを学びました

和歌山県立
和歌山商業高等学校 出身　笹田 悠生さん

きれいな「やまびこ」が返ってきて感動！

地域の方々の想いに感動！

和歌山南陵
高等学校 出身　志良堂 陽さん

多彩な体験や地域の方々とのふれあいを通して新たな視点を持つことができる！

私は和歌山市出身ですが、日高川町の高校に通っていたので、日高や御坊エリアに親しみがありました。ただ、寮に入っていたので、町について詳しくは知らなかったんです。大学入学前にパンフレットでフィールド学習があることを知って、「絶対に行きたい！」と思っていました。

印象に残っている体験は、道成寺を訪問したこと。住職が「安珍・清姫」の伝説について語ってくださいました。実は、はじめはあまり興味が持てなかったんです。でも、貴重な絵巻を見せていただき、その繊細さに感動。さらに住職の話しぶりがすごく面白くて、物語に引き込まれてしまいました。

椿山ダムの湖畔にあるヤッホーポイントもインパクトがありました。叫ぶときれいなやまびこになって返ってくる有名な場所。高校時代に知ってはいたものの、一度も行ったことがなかったので嬉しかったです。大自然の中で大きな声を出すことが今までになかったので新鮮でした。

ものづくり体験で、地域の方々と直接コミュニケーションがとれ、町に対する想いを聞けたのも印象に残っています。普段とは異なる所に飛び込んでみることで、視点が変わり、新たな気付きが生まれるということを体感できるとても良い機会になりました。

保育や教育の現場で先生を補助しながら実践で子どもの声や反応を体感

私が目指しているのは小学校の先生。そのためにも実際に小学校や幼稚園に行って先生方の補助をする教育・保育ボランティアをしています。長期休暇のタイミングに、校長先生に相談して行かせてもらうことにしました。

もともとあまり人前に立つのは得意ではなく、将来教育実習に行く時のためにも少しでも慣れたいというのがありました。物怖じしてしまうので、実際最初は子どもたちが寄ってきてくれなくてどうしようかと思いました。でも何度か顔を合わせていると、子どもたちも顔を覚えてくれて今では「怜先生」って呼んでくれて、すごく嬉しかったです。

授業で学んだことも子どもたちへの対応に取り入れていくようにしています。この間小学校に行った時にあることを注意したら「うるさい」って言われたんです。そういった時の対処方法も聞いていたので実践してみたんですが、それが本当に良かったのかどうかはまだわかりません。子どもと接するのは難しいと感じました。もっと子どもと触れ合う時間を増やすため、ボランティアに積極的に参加したいと思います。

運動会にも応援に参加。何度かの訪問を経てすっかり子どもたちとも仲良しに

「怜先生」は嬉しいですね♪

和歌山県立
那賀高等学校 出身　岩本 怜さん

子どもの好奇心を引き出す工夫が勉強になりました

これからも地域連携活動に参加します！

和歌山県立
向陽高等学校 出身　田中 美羽さん

学びを形にできた地域連携ボランティア

2年生の夏休み中にボランティアで、小学校1年～6年までの2、30人の子どもたちが5日間通うサマースクールの先生をしました。仕事は夏休みの宿題の進め方のチェックや、子どもたちの遊びの見守りをすることです。

短期間でしたが、日を追うにつれて子どもたちが懐いてくれて、家であったことや日頃の生活について話してくれることが増え、心を開いてくれたのが嬉しかったです。最後の日には別れを寂しがってくれました。

また、ちょうど2年生の前期に子どもへの声掛けの方法やトラブルの対処法を授業で学んだところだったので、意識して実践しました。室内遊びの風船バレーで、高学年の子ばかりが主役になって、低学年の子がうまく参加できていないときなどに、適切に声掛けできたかと思います。今まで子どもと実際に関わる機会があまりなかったので、学びが形になったとやりがいを感じました。

私は、公立の幼稚園や保育園の先生を志望しています。子どもたちの育成においては、地域と結びつき、園の中だけではない学びを広げていくことが大切だと思っています。それにはまず指導者である私自身が地域をしっかり理解する必要があるので、これからも積極的に地域連携活動には参加していきたいです。

3 人との繋がり

「人」を育てるのは「人」。
さまざまな人との交流を持つことで、学びや成長、大学生活は
ひときわ充実したものになるはずです。
学生同士、地域の人や子どもたち、そして受験生と。
さまざまな人との繋がりを通じて、教育者・保育者としての
深い人間力を養います。

交流を深める、学生たちの取り組み

大学祭「和信祭」

地域との密接な連携が和歌山信愛大学の特徴の1つ。大学祭も自分たちだけでなく地域と共に盛り上げたい！と、参加型のイベントを多数企画。模擬店や発表だけでなく、のど自慢大会や抽選会、チャリティーバザーなど地域の人たちとの交流を深める内容で、子どもたちからお年寄りまで世代を問わず楽しめる大学祭を目指しています。

子どもフェスタ

「子どもの笑顔がいっぱいになる街づくり」を目指し、乳幼児から小学生とその保護者たちを対象に開く「子どもフェスタ」。学生や教員が中心となり、ダンスパフォーマンスや工作、読み聞かせなど様々な切りロで子どもたちと交流。また子育て講演会や相談会などもあり、保護者も楽しみ、学べるイベントです。今後も和歌山県内、いろんな場所で行う予定です。

クリスマス会

建学の精神・キリストの教えを学ぶクリスマス会では、スライドと朗読でクリスマスの話と共に聖歌鑑賞やお茶とお菓子による交流会を実施。学生、教職員だけでなく次年度入学予定の高校生も招き、楽しく交流します。

Fun! Fun! Fun!

学生たちがつくったサークル活動

和歌山信愛大学では、学生自身がサークルを作り活動します。
開学して4年目を迎え、たくさんのサークルができました。
学年を越えての関わりが増え、大学生活をさらに充実させています！！

◉執行部

執行部では、大学に通う学生がより良い大学生活を送ることができるように大学と学生の間に立ち、様々な意見を聞き、楽しい行事を考えています。一緒にイベント企画してみませんか？

◉OCPTサークル（オープンキャンパスプランニングチーム）

オープンキャンパスを教職員とともに企画し、高校生を迎えます。直接高校生に信愛大学の魅力を伝えられるように工夫しています。活動の中で、自然と企画力やコミュニケーション力が付いていると実感しています。

◉子育て支援キャラバン隊

子育て支援イベントを開催し、色々な地域の方や幅広い世代の方と触れ合います。実際の子どもの姿をみることで、大学の授業の意味や意図をさらに理解することができます。

◉社会教育サークル「わかまなび」

他大学と連携した社会教育サークル。主に、かつらぎ町天野地域の活性化プロジェクトに参加しました。

◉教員志望サークル

教員志望サークルは、小学校教諭採用試験に向けて仲間と共に勉強するサークルです。サークル時間になると好きな教科を勉強し、教え合います。

◉音楽サークル

大学祭や子どもフェスタで舞台発表をしました。子どもから大人まで、一緒に口ずさめる曲を選曲しています。クリスマス会でも演奏しました。

◉書道サークル

好きな時に好きな文字を書く、それがモットー！ 大学祭やオープンキャンパスでも作品を披露しました。ぜひ入部してください！2ページ下のキャッチコピーも私たちが書いたものです。

◉アートサークル

季節やイベントに合わせて、顔出しパネルなど、子どもが喜ぶ作品を制作！ 子どもフェスタにサークルとして参加しています。

◉スポーツサークル

学年問わず、男女問わず、種目を問わず、やりたいスポーツをみんなで仲良く行います。授業ではできない種目ができるので大満足！

◉バドミントンサークル

経験者も未経験者も、混ざって全力で体を動かします。汗だくになるまで動くことでストレス発散にもなり、メリハリのある生活ができています。

◉ダンスサークル「Meile」

「Meile（メイレイ）」はリトアニア語で「愛」。信愛の「愛」をとって名付けました。今はコピーばかりですが、いつかオリジナルの振付もしてみたいです。

◉バレーボールサークル

バレーボールサークルは、初心者・経験者が混ざって基本的な練習や試合を楽しく行っています。経験者が初心者を教えたり、顧問の先生が指導してくれたりと整った環境で活動しています！

◉バスケットボールサークル

バスケットボールサークルでは、経験者も初心者も一緒に混ざって試合をしています。バスケットボールに興味のある人はぜひ一緒にしましょう！

◉フットサルサークル

フットサルサークルにはサッカー部、野球部、陸上部、剣道部とさまざまな部活をしていた学生がいます！ 写真でもわかるように、過去の部活関係なしに全員全力で楽しめるサークルです！

教員との距離が近く、手厚いサポート

和歌山信愛大学の特徴の1つが学生と教員の緊密なコミュニケーションにあります。
教員が一人ひとりの学生をしっかりと把握し、それぞれに合わせて目標へと導きます。

距離が近くなる仕組み

学生の目標に合わせて支援する担当教員制

一人ひとりきめ細やかなフォローができるよう、1年次から4年次まで担当教員制を採用しています。修学上のこと、就職のこと、さらには学生生活全般にわたって、学生の要求に応じて個別に指導・助言を行います。また、履修状況や学習課題を把握し、学修支援を行います。

オフィスアワーでさまざまな相談に応じます

学生たちが授業内容や大学生活上のさまざまな問題について教員に個別に相談したり指導を受けられるようにと設定されている「オフィスアワー」。この時間帯には各教員は研究室で待機。学生は原則事前の予約なしで自由に研究室を訪問し相談することができるため、しっかりと信頼関係を築くことができています。

学生の自主性をしっかりとサポートする教学センター

学びと同時に学生生活をサポートする「教学センター」。履修登録から実習に関する疑問や悩み、留学、学外活動など、学内の授業以外の自主活動や課外の活動についても的確かつ細やかにアドバイス。また相談から成績や進路についてなど「何かあれば教学センター」と頼れる幅広い学生相談窓口にもなっています。

少人数制のゼミを1年次から必修にしています

1年次から4年次まで配置する必修のゼミ形式授業は5人から15人程度の少人数制で実施。そのため細やかな指導体制が整っています。

ピックアップ・ゼミ

◉教職基礎ゼミナール［1年次］

森下 順子先生
保育学／幼児教育学／発達心理学／子育て支援

地域の教育的課題を探求しながら、効果的なノートの取り方などアカデミックスキルの基礎を学びます。課題について情報の収集や要約・発表などをグループで行う場面もあり、チーム力やコミュニケーション力が向上します。また仲間や教員と対話を重ねる場面が多く、それぞれが持つ強みにも気づくきっかけとなっています。地域に根差した保育者や教育者を目指す第一歩として、一緒に頑張りましょう。

◉地域連携フィールドゼミナール［2年次］

森崎 陽子先生
体育学

地域特性や町の仕組み、抱える課題を調査・探求し、課題解決力の向上を図ります。和歌山市や湯浅町と連携し、現場に足を運び現状を把握することで、若者ならではの発見・発想から町の活性化に向けた提案を考えます。さらに、1年間の中で子どもから高齢者まで地域に生きる幅広い年代の方と関わる機会があり、視野が広がり様々な知識を得ることができるでしょう。「主体的・対話的で深い学び」が実現できる科目です。

◉専門ゼミナールⅠ・Ⅱ［3・4年次］

辻 伸幸先生
英語教育学／異文化理解／教員養成／国際交流

自身の興味や関心に基づき、教育・保育に関する課題を主体的に学び探求します。辻ゼミでは、英語教育、国際交流活動、多文化理解等をターゲットにして研究を行なっています。2021年に和歌山県から支援をいただき、中国四川省の大学生と国際交流活動を2回実施しました。この国際交流活動では、ビデオ会議システムを利用して、両国の食文化や防災について英語で交流することができました。学生はコミュニケーション名人に成長中！

研究機関

子ども学に関する講座の様子

桑原 義登先生

わかやま子ども学総合研究センター

子どもを中心に据えた研究と実践活動で教育と福祉の現場課題に糸口を

和歌山県と和歌山市との連携協定で「教育現場や福祉現場の課題について研究する役割を果たして欲しい」という要請を受け、立ち上げたのが「わかやま子ども学総合研究センター」。本学の建学の精神に基づき、子どもの心身の成長や発達・生活・文化・教育・福祉・子育て支援等を総合的に研究する「子ども学」の多角的な調査研究と実践を行い、地域社会や公共の利益に貢献することを目的としています。教科指導や不登校などの課題等について、子どもを中心に据えた研究と実践活動を幅広く行い、電子ジャーナルによる研究報告を行う予定です。

（教・共・郷）きょう育の和センター

地域と家庭、産学官の同時連携を通じて学びと地域発展を目指します

地域社会に開かれた大学として、さまざまな地域連携や産学官連携の総合窓口となるべく当センターを設置しました。家庭と地域社会および保育所、幼稚園、認定こども園といった横の連携、保育所、幼稚園と小学校の教育を繋げる縦の連携。これらを踏まえた子育て・子育ちを総合的に支援できるよう学生と教職員が一体となって活動を行っています。

子ども教育に特化した本学ならではの課題、ニーズを的確に把握し、大学と地域が協働して取り組むことで、学生の中に学び、社会で活かす力が育まれ、地域社会の発展向上に貢献できればと願います。

戸澗 幸夫先生

本町子どもフェスタを企画。当日は多くの子どもたちが来てくれました

学長メッセージ

聖書の中には奇跡の話がよく出てきますが、その一つに「水がぶどう酒に変わる」という話があります。婚礼でぶどう酒が足りなくなった際、イエスの言葉に従って給仕が水がめのふちまで水を満たしたところ、良いぶどう酒に変わったというものです。

この「いっぱいにする」という行為は、とても深い意味を持っていると思います。精一杯限りを尽くして限界に近づくことで、それまで見えなかったものが見え、感じなかったことが感じられ、視野が広がることは、誰にも起こり得ることではないでしょうか。

実際に私は大学で、水がぶどう酒に変わるのを度々見てきました。学生の皆さんが自分の可能性を信じ、限りを尽くして何かをやり通すとき、顔や姿がそれまでと全く違って見えるのです。努力し成長するというのは本当に素晴らしいことです。

和歌山信愛大学では、学生と先生が二人三脚で頑張り、毎日少しずつ努力と工夫という水を注いで、一人ひとりが持っている能力を開花させていきます。全員が、しなやかで強く、優しい教育者・保育者に成長し、社会に貢献されることを心から願っています。

学長
Sr. 森田 登志子

4 未来を築くキャリア

信愛大学では、多くの学外実習や試験対策・就職対策が待っています。
一般的な大学生と比べると少し忙しい大学生活かもしれません。
しかし、同じ夢を持つ学生が集まり、
それを支える教職員がいるのが信愛大学。
頑張れば必ず目標に到達できます。
夢を一緒に実現するサポート体制が充実しています。

キャリア教育・サポート体制

教師塾

1年次から始まる「教師塾」。
教育委員会や現職教員と連携し、教員資格取得を強力バックアップ。

和歌山信愛大学では「教師塾」を開設し1年次から段階を踏んだキャリア形成のサポート体制を整えています。学習活動の計画から必要な知識・技能の習得、また現職教員や元教員を招き教育現場の現状と課題を考えるなど、即戦力となる資質を高めると同時に就職活動や採用試験をバックアップ。就職後のフォローまでしっかり行います。

キャリア形成科目群「教師塾」

1年次

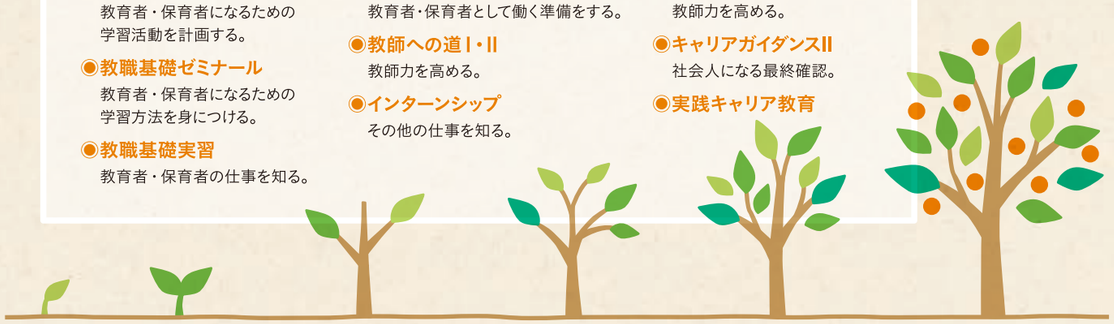
- ◉教職キャリアデザイン
  教育者・保育者になるための学習活動を計画する。
- ◉教職基礎ゼミナール
  教育者・保育者になるための学習方法を身につける。
- ◉教職基礎実習
  教育者・保育者の仕事を知る。

2年次・3年次

- ◉キャリアガイダンスⅠ
  教育者・保育者として働く準備をする。
- ◉教師への道Ⅰ・Ⅱ
  教師力を高める。
- ◉インターンシップ
  その他の仕事を知る。

4年次

- ◉教師への道Ⅲ
  教師力を高める。
- ◉キャリアガイダンスⅡ
  社会人になる最終確認。
- ◉実践キャリア教育



ピックアップ授業

◉教職基礎実習

小学校、幼稚園、保育所での現場体験・観察実習を行い、教育者・保育者の仕事を理解します。さらに、児童、幼児との関わりから、学生それぞれの学修課題を見つけ、免許・資格取得に向けて学修意欲向上を目指します。

◉キャリアガイダンス

目指すべき、教育者・保育者像を明確にすると共に、就活の仕方、履歴書の作成、筆記試験対策、面接練習など、採用に至るまでの道筋を、演習形式で学びます。学生の状況や社会情勢にあわせ、講義内容をアップデートします。

実習サポート

スモールステップで着実に成長。

和歌山の教育・保育の現場に根ざしてきた信愛は、行政の支援もあり実習先が豊富で多彩。1年次から4年次まで、個々の進路に合った実習を継続的に経験することができます。現在の自分の力を常に確認しながら、課題は次の実習で克服。スモールステップで着実に成長することができます。
また子育て支援といったボランティア活動などに参加することでも、たえず子どもと触れ合う環境に身を置くことができます。

Report 01

「いい先生になれるよ」の言葉を宝物に

中学生のときから子どもが好きで、職業体験で小学校へ行ったことをきっかけに、小学校の先生を志すようになりました。

3年生の夏に約1カ月間行った小学校実習では、6年生を受け持ちました。算数の授業では、円の面積や比の問題などを数回に分けて教えることに。最初は予想外の答えが返ってきたときにうまく対応できないなど、力不足を感じる場面が多くあり、もっと経験を積まなくてはと焦りも感じました。でも、道徳の授業中普段は手をあげない子が思い切って手をあげてくれたときは嬉しかったですね。担任の先生にも「信頼してもらえたんだね、いい先生になれるよ」という言葉をいただき、先生になりたい気持ちがより強くなりました。

また、現場を見て印象に残ったのは、先生同士のつながりの強さです。教材研究やクラス運営など、真剣に相談しあっているのを見て、協力の大切さを感じ取りました。

実習に行って、自分が先生になった姿がちょっとだけ現実味を帯びて想像できるようになりました。子どもたちと距離が近く、家庭の事情でも悩みでも、何でも話してもらえるような信頼される先生になりたいです。

子どもたちに信頼される先生に！

たくさん手を挙げてくれてうれしかった！

和歌山県立
那賀高等学校出身　谷口 航さん

Report 02

「くるくるタココプター」も夢中で作ってくれました

子どもたちから学べる指導者を目指して！

和歌山県立
和歌山商業高等学校出身　戎脇 楓さん

子どもたちの発想力から学びを得て

幼保コースは、幼稚園と保育所、施設への実習に行きます。実習では、ねらいをもって指導案を設定し、それに基づいて保育を行う「設定保育」を受け持ちました。私が定めたねらい「楽しむ、不思議に思う」のとおりに、子どもが「どうしてこれ回るんだろう」と言い出してくれたときは嬉しかったですね。同時に、時間をオーバーしてしまったり、細かい設定に思いが至らず想定どおりに子どもたちが動いてくれなかったりと失敗もあり、自身の課題をたくさん見つけることができました。

実習に行って強く興味を惹かれたのは、子どもたちは同じ状況におかれても、一人ひとり言葉や対応が違うこと。喧嘩したお友だちへの謝罪、ゲームに負けたときの対応、そんな日常生活のささいな1シーンにも、それぞれの個性があり、成長の芽があると感じました。子どもたちの発想力や観察力の鋭さに、「子どもはすごい」と感動を覚えることばかりでした。

明るく笑顔で、子どもたちから学べる指導者でありたいです。子どもが世界に対してもっている「どうして?」という素直な感覚を、私ももち続けて、大切にしてあげられる先生になりたいです。

キャリアサポート

学生の主体性を大切に、
学生一人ひとりの幅広い進路志望に応じたサポートを行っています。

インターンシップで現場を体験

実際の業務や働く環境の体験を通じて、業務内容や「働くこと」の意味について理解を深めることを目的とし、本学では正課科目としてインターンシップを設置。『和歌山県経営者協会』と連携し、企業就職に向けた支援を行っています。

素早く情報をキャッチするためのキャリア支援システム

就職活動で必要な情報を配信・管理する本学専用の就職システムです。主にキャリアセンターから就職に関連するお知らせや求人情報などの配信、および学生からの活動報告等を行います。就職活動は情報収集が重要。登録後は、インターネット環境があれば、いつでも、どこにいてもアクセス可能なため、システムを活用して素早く情報を得ることができます。

キャリアセンターと教員が就職活動を全力サポート!

キャリアセンターと教員が一体となり、4年間を通して学生の就職をサポート。学生の主体性を大切に一人ひとりの希望に沿った、納得のいく職業選択ができるようサポート体制を整えています。

進路別の4年間の流れ〈参考〉

	1年生	2年生	3年生	4年生
小学校教員	就職ガイダンス ● 自己理解を深め、自分のキャリア「将来像」について考える ● 様々な進路を見据え、進路選択の幅を広げる ● 様々な課外活動に参加して経験値を上げる	筆記試験に向けた継続的な自主学習(教養科目・専門科目) 各自治体の情報収集 ◉教員採用試験対策講座受講	マナー・面接対策セミナー受講 教採模試受験	募集要項配布・願書受付 ◉面接対策講座受講 一次選考 二次選考 教育委員会・学校との面談、合格者説明会
公立幼保		筆記試験に向けた継続的な自主学習(教養科目・専門科目) 各自治体の情報収集 公務員・公立幼稚園・保育所ガイダンス受講	マナー・面接対策セミナー受講 ◉公務員試験対策セミナー受講	募集要項配布・願書受付 保育士模試受験 ◉面接対策講座受講 一次選考 二次選考 合格者説明会、研修等
私立幼保		各私立園の情報収集 自己分析・自己PR対策セミナー受講	筆記試験・実技試験に向けた対策をする 園見学・説明会へ参加、求人情報の収集 マナー・面接対策セミナー受講 履歴書対策セミナー受講	応募先の決定 ▶ 応募 ～ 選考試験へ 応募書類の作成 ◉面接対策講座受講 内定者研修等
公務員		筆記試験に向けた継続的な自主学習(教養科目・専門科目) 各自治体の情報収集 公務員ガイダンス受講	マナー・面接対策セミナー受講 ◉公務員試験対策セミナー受講	募集要項配布・願書受付 ◉面接対策講座受講 一次選考 二次選考 内定者研修等
一般企業		筆記試験に向けた継続的な自主学習(SPI・一般常識等) インターンシップ 自己分析・自己PR対策セミナー受講	応募書類作成 業界・企業研究、職種研究 インターンシップ 自己分析・自己PR・ES対策セミナー受講 就職フェア・説明会へ参加 ◉学内企業説明会へ参加 マナー・面接対策セミナー受講	求人情報の収集 ▶ 応募～選考試験へ インターンシップ 応募先の決定 ▶ エントリー ▶ 選考試験 ◉面接対策講座受講 内定式、内定者懇談会、各企業の研修等

各種就職対策セミナー・特別講座

就職に必要な力を身につけるため、様々な分野の就職へ対応した講座やセミナーを開講しています。

◉教員採用試験対策講座

教員採用試験の筆記試験対策。一般教養試験、小学校全科試験の分野について実践的な攻略方法や計画的な学習方法を学びます。最新の傾向や頻出ポイントなどの解説も行っています。

◉公務員試験対策セミナー

公務員を目指す学生向けのセミナー。公務員試験の科目に特化した学習や解法テクニックを身につけます。公立の保育士・幼稚園教諭を目指す学生にとっても役立つセミナーとなっています。

◉学内企業説明会

企業の採用担当者を招き学内で企業説明会を開催。人事・採用担当の方と直接話せる貴重な機会であり、就職情報サイトでは得られない企業の情報を知り得るきっかけとなっています。

◉面接対策講座

就職の採用試験に必要不可欠となるのが面接選考です。幅広い進路に応じた面接の基本的な内容やマナー、伝え方のポイントなどを学べる講座。実践的な模擬面接の練習も行っています。

Voice 01

自己分析の講義や先生のアドバイスで具体的な将来像が見えてきました

キャリアセンターでは、進路について親身に相談に乗ってくれます。よく利用するのですが、優しく最後までしっかり聞いてくれるので、進路についての悩みを話しやすいですね。一方的なアドバイスでなく、私の思いを尊重しつつ、進路の決め方やこれから何をしていくべきなのかなど、具体的なアドバイスをもらえるのですごく助かっています。キャリアセンターでもらったアドバイスを元に進路決定に繋げていくことができるので、私にとって、とても大切な場所です。

和歌山県立日高高等学校 出身　西崎 文彩さん

UNIVERSITY LIFE

実家からの通学、一人暮らし、どちらもそれぞれの良さがあります。
そこで、実際に実家で、一人で、どう暮らしているかを2人の先輩のある1日から紐解いてみました。

実家暮らし

なんばから南海本線で、橋本、御坊からJR和歌山・きのくに線でそれぞれ1時間。そこから和歌山信愛大学へは歩いてもバスに乗ってもそう遠くはありません。そんなアクセス抜群の通いやすい立地が、家から通学している学生が多い理由のひとつです。

森川 優花さんの場合

小さな大学だからこそ、すぐに友達ができ、授業も空き時間も楽しく過ごせます！

勉強も遊びもバイトも全力!!

アクセス抜群の電車やバスでらくらくスケジュール管理はしっかりと

有田市に家があり、大学まで電車とバスで通っています。かかる時間は1時間くらい。アクセスが良いので、そんなに苦に感じたことはないですね。たまに大学の近くで一人暮らしをしている子がうらやましくなるときもありますが、家族との時間を大切にしたいから、実家暮らしで大満足。

大学周辺は駅近ということもあり買い物をする場所や飲食店が充実していて、空きコマに友人とカフェに行くことも。課題が多いときやテスト前は、家では気が散ってしまうので友人と図書館に行ったりしてメリハリを付けています。バイト先は、大学から駅までのルートにある飲食店を選んでいるので効率はばっちり。実習があるときはシフトを入れないようにして、大学生活に支障が出ないよう、しっかりスケジュール管理をするようにしています。

駅からバスの友達も多くて安心

とある1日のスケジュール

08:50　登校

09:00　1限「いのちと倫理」
命や生きる意味を考え、自分の意見をまとめたり、発表したりする。

10:50　2限「教育心理学」
ロールプレイングを通して、主体的に学びます。

12:30　昼食
学生ラウンジでお弁当タイム。食後はみんなで遊んでたらあっという間に休憩終了。

13:30　3限「図画工作」
子どもの気持ちを取り戻しつつ、指導する上で注意することを学びます。

15:15　下校

16:30　アルバイト

一人暮らし

和歌山市の中心部にある和歌山信愛大学。周辺にはスーパーやコンビニ、銀行、病院、ドラッグストアといった生活環境が整い、すぐ近くには商店街も。遠方からの入学で家から離れて一人暮らしをするといった場合にも便利がよく心強いロケーションです。

久畑 侑也さんの場合

自転車で行ける範囲に大体のものがあり、街中でも自然豊か。通学時も季節を感じています。

楽しい友達ばかり。女子トークならぬ男子トークも最高!!

料理もできるようになりました！

勉強も遊びも自分の裁量次第 自主性が身につくのが一人暮らし

高校から既に家を出ていたんですが、当時は寮住まいだったので一人暮らしは初めて。今は大学から自転車で10分ほどの所に部屋を借りています。住環境は特に不便は感じていません。近くに24時間のスーパーもあるのですごく助かっています。料理に洗濯、掃除といった家事がなかなか大変ですが、遊ぶ時間も勉強する時間も寝る時間も、自分の一日の時間をしっかりと決める習慣ができて自主性がついたんじゃないかと思っています。正直、家にいる時はゴミ捨て一つもしていなかったんですが、一人暮らしをすると親のありがたみがよくわかりますね。とはいえ、やはり自由になることも多いのが一人暮らしの利点。友達もよく泊まりにくるので、食事は、たまに一緒にレシピをみながら悪戦苦闘して料理を楽しんでいます。

やりくり上手?! 1ヶ月の生活費

食費 …… 15,000円	光熱費 …… 7,500円	趣味 …… 3,000円
住居費 …… 50,000円	被服・美容 …… 4,500円	貯金 …… 5,000円

とある1日のスケジュール

08:50　登校

09:00　1限「特別支援教育・保育」

10:50　2限「小学校実習指導」
指導案を作成するため、コンピューター室で授業することも。

12:30　昼食
3年生になり、少し時間にゆとりができるので、友達と近くのカフェに行くことも増えました！

14:00　ラウンジで友達と自主勉強

17:00　サークル活動
スポーツサークルでバレーやバドミントン、サッカーなどを後輩と一緒に行います。

19:00　帰宅
友達が遊びに来たので手製のカルボナーラで夕飯。友達が来る日は合宿気分で楽しい♪

賃貸住宅センターが一人暮らしをサポート

自宅からの通学が困難な学生の為に、本学と連携している「賃貸住宅センター」を紹介します。賃貸住宅センターでは、卒業まで安心して住むことのできる住まい探しをお手伝い。必要な学生は、事務室に相談してください。

Tel.073-425-5123(代)
【住　所】和歌山市美園町5-2-5 アイワビル1F（和歌山駅前本店）
【営業時間】9:00～19:00
【定休日】年中無休（季節休暇を除く）
【H　P】http://www.w-chintai.net/

CAMPUS MAP

小学校・幼稚園跡地をリノベーションして誕生した和歌山信愛大学。
渡り廊下や子どもの歩幅に合わせた階段など、
所々に当時の面影を残すキャンパスは
先生を目指すにふさわしい環境と言えるでしょう。

1号館

小学校の教室を生かした模擬教室や、最大100名が利用できる中講義室、多目的コンピューター室、家庭科教室、図工室などの特別教室を配置。このほか図書館や学生ラウンジなども備わっているため、授業外でも多くの学生が行き来しています。

1階
- 事務室
- 非常勤講師室
- 学生ラウンジ❶
- 図書館
- 学生自習室❶

2階
- 学長室
- 応接室
- 中講義室❶
- 図工室

3階
- 多目的コンピューター室
- 模擬教室
- 家庭科教室

模擬教室

多目的コンピュータ室

図工室

家庭科教室

中講義室❶

学生自習室❶

学生ラウンジ❶

2号館

5室の講義室のほか、心理学演習室、教学センター、理科室、24台の電子ピアノを備えるML(ミュージック・ラボラトリー)などがあります。また教員の研究室もこの棟に多くあるため、気軽に相談に訪れる学生の姿が日常的に見られます。

1階
- ML教室
- 講義室❶
- 医務室
- 中講義室❷

2階
- 教学センター
- 相談室
- 会議室
- LANDs❶
- 講義室❷・❸
- 理科室

3階
- 講義室❹・❺
-心理学演習室

ML教室

理科室

3号館

2020年より開設の3号館は、幼稚園だった建物をリノベーション。学生ラウンジや学生自習室など授業外で自由に使える場所を広く確保。サークルのミーティングにも使える!

1階
- 聖堂
- 学生ラウンジ❷
- 学生自習室❷

2階
- 音楽室
- LANDs❷
- 保育実習室

学生ラウンジ❷

聖堂

保育実習室

学生自習室❷

音楽室

Pick up 図書室(1号館)

初等教育関連の専門図書から幼児教育・保育関連、地域関連の専門図書まで、さまざまな分野の図書を所蔵。さらに本学と姉妹校の和歌山信愛女子短期大学間で毎日1～2便の図書配達便を運行し、両校の蔵書を互いに利用できるよう連携しています。

Pick up ラーニングコモンズ「LANDs(ランズ)」(2号館・3号館)

「アクティブラーニング」に適応した学習空間。講義や実習、プレゼンといった学習スタイルの変化に応じてスペースを柔軟に変更できるよう机、イスを可動式に。また視聴覚機器やコンピューター、無線LANなどを整備し、学生の能動的・協働的な学びを支援します。

CAMPUS SCHEDULE

入学後は授業以外にも大学祭やクリスマス会など年間を通して行事が盛りだくさん！
地域と関わるイベントも多く、充実のキャンパスライフが送れます。

4月
・入学式
・オリエンテーション
・健康診断［全学年］

5月
・教職基礎実習［1年生］

6月
・保育実習（保育所）［3年生］

7月
・前期試験開始

8月
・夏季休暇

9月
・地域連携フィールド学習［1年生］
・幼稚園実習Ⅰ［2年生］
・小学校実習／幼稚園実習Ⅱ［3年生］

10月
・コース決定［2年生］

11月
・本学創立記念日
・大学祭「和信祭」
・幼稚園実習Ⅱ／保育実習Ⅱ［3年生］

12月
・クリスマス会

1月
・後期試験開始

2月
・保育実習Ⅰ（施設）［2年生］
・春季休暇

3月
・学位記授与式
・入学前ガイダンス

入学式

教職基礎実習［1年生］

地域連携フィールド学習

子どもフェスタ

幼稚園実習［2・3年生］

小学校実習［3年生］

大学祭「和信祭」

クリスマス会

入学前ガイダンス

大学説明

入試説明

模擬授業（理科）

模擬授業（音楽）

面接対策講座

体験授業（理科／小学生）

先輩相談

開催日程

6.4	[SAT] 13:00~16:00
7.16	[SAT] 13:00~16:00
8.6	[SAT] 13:00~16:00
8.7	[SUN] 13:00~16:00
10.15	[SAT] 13:00~16:00

オープンキャンパスで私たちが待っています！

オープンキャンパスでは、信愛大学だからこその魅力や在学生しか知らない裏情報などを聞くことができます！ さらに実際の授業を体験することもでき、大学生気分を味わえます。ぜひご参加ください、私たちOCPTメンバーがお待ちしています！

OCPT（オープンキャンパスプランニングチーム）サークル　堤美菜さん

お問い合わせ　**和歌山信愛大学 教学センター**（Tel.073-488-3120）

※駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。
※参加前に必ず、本学ホームページ（https://www.wsu.ac.jp）をご確認ください。

アクセス

南紀方面	海南	普通 約15分	JR和歌山駅	バス 0・40・42・44・52系統 南海和歌山市駅ゆき (3番のりばから乗車) 「本町3丁目」下車 約8分	和歌山信愛大学
	御坊	普通 約60分			
	紀伊田辺	特急 約70分			
橋本方面	岩出	普通 約22分			
	橋本	普通 約60分			
大阪方面	天王寺	快速 約70分			
	なんば	特急 約60分	南海和歌山市駅	徒歩 約13分	
	岸和田	特急 約35分			

和歌山信愛大学
Wakayama Shin-ai University

〒640-8022 和歌山県和歌山市住吉町1番地

代表 TEL:073-488-6228／FAX:073-488-6260

入試のお問い合わせ／資料請求 TEL:073-488-3120／FAX:073-488-3203

和歌山信愛大学について
もっと詳しく知りたい方は
こちら

和歌山信愛大学のホームページ